令和2年9月15日　18時00分～18時50分

zoomによるリモート役員会

小田原支部役員会議事録

議事録作成　西尾　吉一

出席者名

　境支部長・小泉支部長・片岡HP運営委員長・齊藤相談委員長・古屋研修委員長・山口研修副委員長・長尾広報委員長・鈴木貴士広報副委員長・瀬戸会計・西尾副支部長

欠席者

　南理事・中條コスモス特命（不参加連絡なし）、根布厚生委員長（PC不調連絡）

本多厚生委員長（許可不手際で参加できず）加藤相談副委員長（参加時すでに終了）

司会進行　小泉副支部長

支部長挨拶

　2か月ぶりになってしまった。この間、他支部では、3蜜を避けた集合研修、ZOOM等による会議や研修が始まっている。鎌倉支部においては、研修会＋懇親会！も実施したようである。今後の状況を見ながら、小田原支部は進め方を考えていきたい。

　本会では、行政書士フェスタを中止したので、何とか挽回を模索し、読売新聞に公告を掲載する事を決定した。また、19支部すべてで各支部に1回分だけ広報誌（タウンニュース等）での広報費用を負担する事がきまった。

　掲載内容については、本会で構成等を考え、支部長へのインタビューを実施し、掲載をする事になった。そのほかの種々周知策を検討しているので協力していく。

本会でリモート会議の実現を目指しているが、通信能力やライセンス契約で厳しい状況で確立できていない。進度状況を確認しながら、利用策を考えていきたい。

狭い場所になる図書館セミナーの開催には、各支部とも苦慮している。電子紙芝居の定期間（著作権の関係）閲覧の案がでてきた。南足柄にも打診してほしい。

議題　　事前（2020年9月1日付送付済み）配布の議題に沿って進行されました。

１、10月1日開催の国・県・市合同相談会への相談員の派遣について、

　　片岡会員・西尾会員に依頼を行った。

　　広報担当は同行することなく、両名に写真撮影を依頼。

２、１１月から１２月リモート開催予定の４支部合同研修会は、4支部長の合意で、開催は延期とし来年３月位に開催できないか検討していく事となった。単独の支部研修と異なり、他支部会員との交流が目的のひとつでもあるため、集合で交流が図れるまで延期しようとの判断となった。もし3月でも無理な場合は再度リモートも検討する。

３、１１月２２日開催、かなさぽ西地区主催、小田原市、社協等後援「小田原支部共催市民

講座」の件、小田原学習センターけやきで開催する予定。（200名の会場で参加予定者

２０名から３０名程度。感染対策を十分にとる。）

４、新年会開催について、次回役員会を１２月１５日にコロナの状況、厚生委員会の準備状況を考慮し実施の可否を決定する。次回広報は１月発行であり、周知方法を熟慮する必要がある。

５、弁護士会との交流会についは、弁護士会から連絡があり、「令和３年３月３１日まで行

政書士会との交流会は実施しない」との通知があった。次年度に考えることとする。

６、行政書士広報月間において、行政書士会相談会に代わるものとして、本会では今年、行政書士７０周年にフェスタを実施しない代わりに、読売新聞に公告を掲載する。各支部においては，タウンニュースに掲載することを予定、掲載内容については、本会で構成等を決定、各支部長へのインタビューを掲載。小田原版の費用負担については本会での負担、ただし、２つ目以上の地域は支部負担となる。当支部は足柄上郡版があるので、支部として行政フェスタを実施しないので、行政書士フェスタの残予算を使用する事を全員一致で合意した。反対意見は特になし。

７、１２月の役員会は、できるだけ集合して実施したい。ただ感染治まらないときは、再度考える。１２月１５日（火）１８時開催の予定を伝達。議案内容は新年会ついて、次期支部体制、３月4支部研修が主要議題。

８、次期体制では一部会員から支部長選挙の実施を求める意見もあった。横浜中央・川崎・相模原？は実施した。らしい？広報にて、自薦他薦を募り候補者がいれば実施する。

　　候補者がいない場合には、役員推薦で決めざるをえない。

９、今後のスケジュールとしては、２月役員、1月広報での募集、2月選挙の有無決定４月

に総会準備完了配布の予定。

10、新年号・暑中見舞いのタウンニュース掲載についての掲載費用について支部長が自費で

の掲載となっていた件、先々支部長時は支部予算だったとの事で、支部長名、支部主所、

電話番号等、相談会等考慮すべきだが、今期は支部からの支出とする事で合意。議長発

言に反対意見無し。夏号をみたい会員の希望あり。入手できれば送信しておく。

１８時５０分閉会